

164号
Summer
2023

まごころ
孫
子
走



全国まごころケアネット



すいか

CONTENTS

巻頭言 穏やかに「まごころ」香る	1
寄稿 日本ケアシステムへの期待 ルーテル学院大学名誉教授 市川 一宏	2 3
寄稿 「花」は心を映す鏡にもなる 日本福音ルーテル教会牧師 加納 寛之	4 5
孫子老だより 「健康管理はユーモアと笑いで」	6 8
センターだより	9 14
まごころケア旭川 旭川センタートピックス	
まごころケア塩釜 「コロナに負けず」	
孫子老ケアサービス仙台泉センター 「手探り見切り発進です」	
まごころケアサービス福島センター 「春・爛漫！」	
まごころケア国分寺 「にこにこ三豊デイサービスの一員になって」	
まごころケア屋島やすらぎ 「久しぶりのお花見」	
まごころケアぽつかほか川之江 「毎日に感謝」	
まごころケア西春日 「福祉有償運送運転者講習会に参加して」	
まごころケア高松	
「AI」とどう向き合いますか	14 15
事務局通信	16

穏やかに「まごころ」香る



特定非営利活動法人
日本ケアシステム協会
会長 兼間 道子

H店（パン屋さん）に入ったその瞬間、「ようこそ、いらっしゃいませ」と来訪者との出会いを喜び、優しい空気で包まれた。心から歓迎してもらっているのが分かった。店主か店員か知る由もないが、兎に角、温かさで包まれ嬉しくなった、何と温かいもてなしだろう。この店に来る客は皆そう感じているにちがいない。一夜にして醸し出せる雰囲気ではない。

スーパー、レストラン等でも同様に「いらっしゃい」の声を聞くことがあるが、その声は大きすぎて喧しいと感じることさえある。心から歓迎している模様ではないのが伝わってしまう、響く声が空しくマイナスのこともある。むしろ黙っている方が得策かもしれない。とりわけ介護、医療に携わる専門職等にとって、このことは示唆でありコミュニケーションとは何かを教えられた気がした。

さて、再びH店でのこと。笑顔満面に「ようこそ、いらっしゃいませ」という声にのって、食パン一斤を買うつもりがドーナツを5個買ってしまった、夫と2人暮らしで5個は多すぎた。何でこんなに買ってしまったのかと感じつつ、再び訪問したいと思った。次回にはカレーパンやクリームパン等も注文してみよう。

やさしい空気を醸しだすことの大切さを思った。

日本ケアシステムへの期待

ルーテル学院大学名誉教授：市川一宏

1. 私たちが直面する生活課題は何か

私は、社会が2つの大きな危機に直面していると思います。一つは、関係性の危機です。全国で120万人以上の方々が、半年以上家に引きこもっていると予想されています。さらに2020年（令和2年）3月より続くコロナ感染症の拡大によって、特に高齢者・障がい者の孤立化が顕著となり、感染を恐れて外出や関わりを控えた結果、ひきこもり状態にある虚弱な高齢者、認知症の高齢者が増加したのではないかと危惧されています。

具体的には、介護予防につながる活動の場、地域の仲間づくりの場がなくなるか減ることによって、社会的なつながりが切れてしまった高齢者が多くなり、さらに要介護度が高い高齢者を介護している家族の負担が大きくなっています。

もう一つは、経済的危機です。コロナ禍の影響は世代・属性を超えて非常に広範囲に及んでおり、休業やシフト減、雇止め等による経済的困窮に加え、緊急事態宣言等に伴う外出自粛により人とのつながりが変化

し、社会的に孤立を深める人、DV・虐待など家庭に問題を抱える人が顕在化したと言われています。

さらに非正規雇用、失業のなかで生活に困窮する現役世代が増え、結果として子どもに及ぶ貧困の悪循環をどのように断ち切るかが課題となっています。ちなみに、増加している児童虐待を生み出すもっとも大きな要因は、孤立と貧困です。

2. この現状にどう応えるか

新型コロナウイルスの広がりは、今までの関係を打ち砕き、不安、恐怖、不信、怒りを生み出し、負の連鎖が広がってきています。だからこそ、私は以下の3点を重視し、覚悟をもって、取り組むことが必要だと思っています。

第1に、自らの働きを問い直すこと。コロナによって、様々な活動が止まりました。そのことによって、お互いの交流ができなくなり、支援してきた方々が生活困難のただ中に置かれ、孤立が広がっています。それは、地域にあって、各地域福祉活動やサービスが果たしてきた役割がいかに大切であったかということに

他なりません。

日本ケアシステムが目指してきたことは、定款にあるように「在宅で介護が必要な高齢者その他支援を必要とする人々に対し、愛・忍耐・技術の理念といつでも・どこでも・だれでも」のモットーのもと、地域社会を豊かで住みよくするための福祉活動に関する事業を行い、すべての人々が健やかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする」挑戦でした。法人設立当初から関わらせて頂いた私としては、今までの原点に立ち、問題の解決に当たって頂きたいと思っています。

そして第2に、全国各地の働きを合わせて、これからの地域のあるべき姿を描いて頂きたいと思っています。住民の困難な生活が浮き彫りにされてきました。だからこそ、今、互いの存在と違いを認め合い、支え合う地域を描いていくことが大切になっています。私は、互いの違いを認め合い、痛みの共感から始まる地域の再生を目指していく必要があると思っています。

第3は、協働した働きを始めることです。これからの勝負は、互いに

支え合うために様々な方法を開発し、今まで築いた協働の働きを強化することです。孤立を防ごうと活動している人自身が孤立しては、生活問題は解決しません。協働の可能性を模索することが必要です。ちなみに、協働とは、まずケア

システムに所属する団体との協働です。各団体の活動から、私はたくさんの方々に会いました。その方々の思想、思い、実践から、私が見逃していた大切なこと、すなわち希望を当事者に届けることの意味を学んできました。今一度、それをふりかえる時が大切だと考えています。

また各地で行われている地域包括ケアシステムの役割を担うこと、住民、ボランティア、民生委員児童委員、法人、行政、社協等との連携を強め、その実績をケアシステム内部で共有してはどうでしょうか。各団体の活性化に繋がると 생각합니다。

3. 私が目指すこと

お金を失うと生活の危機、名誉を失うと心の危機。希望を失うと存在の危機に直面すると言われます。互

いの存在を認め合い、支え合って共に生きていく寄り添うケアであったと思います。それぞれの人生の一幕コマで、様々な出会いがあり、困難を乗り越えていくために、多くの絆が生まれる。この絆を取り戻したい。

また、福祉系の大学等教育機関に入学する学生が減少している。そして社会福祉機関・団体が求人を出しても応募者が少ない傾向が見られる。しかし、ソーシャルワーカーを必要とする人々は確実に増加している。この閉塞感を打開するために、生活課題に一緒に取り組み、学び、互いに励まし合いながら解決してきた卒業生、仲間と協働して、未曾有の危機に挑戦していきたいと考えています。



市川 一宏

ルーテル学院大学名誉教授。

2002年4月～2014年3

月、2018年4月～2020年

3月 ルーテル学院大学学長。

日本キリスト教社会福祉学会会長、日本地域福祉学会・日本社会福祉学会理事を経験。三鷹市、小金井市、調布市、武蔵野市、練馬区、東京都の高齢者保健福祉計画等策定の責任者として現任、歴任。

厚生労働省・都道府県・市区町村の行政、社協、民間団体に関わる。

地域の福祉力を高め、孤立を防ぎ、「おめでとう」で始まり、「ありがとう」で終わる一人ひとりの人生が守られる、希望あるまちづくり、共生型社会づくりに挑戦している。

・2021年3月「専門職である前に、一人の人間であれ」阿部志郎先生との出会いをとおして「阿部志郎監修・著『福祉に生きる君へ』私は何を伝えてきたか』燦葉出版社

・2019年5月『人生100年時代の地域ケアシステム―三鷹市の地域ケア実践の検証を通して』(編集代表・共著)

・2014年6月『「おめでとう」で始まり 「ありがとう」で終わる人生―福祉とキリスト教』教文館

・2009年5月『知の福祉力』人間と歴史社

～「花」は心を映す鏡にもなる～

日本福音ルーテル教会 牧師：加納寛之

・北海道、雪が溶けると…

「雪が溶けると何になる」と質問されて、北国の子どもが「春になる」と答えたという話があります。北海道の十勝地方、帯広（二〇一九年連続テレビ小説「なつぞら」の舞台）で十二年生活をしましたが、「花」に対する感覚は本州とずいぶん違うということに気づかされました。良い意味で「春」と「花」に希望をもつて生活をしているのです。旅行に行ってみた県ランキング一位は北海道と言われていますが、六月から九月にかけてライラックやラベンダー観光に来られる方もいますが、十勝でも紫竹ガーデンなど多くの方が訪れます。それだけでなく、家庭の庭にも多くの花が咲きます。少しだけ北海道の春と花の紹介をさせていただきます、「花」を通しての出会いをお分かちしたいと思います。

・春、草花が一斉に咲く季節

「ゴールデンウィーク明けまでは冬タイヤを履いたままで替えてはいけない」と言われていましたが、本当に四月末にも雪が降るのが北海道。本州で梅やアネモネが咲く二月、三月はまだ雪の中。

本州では冬の寒い中でも草花を見



三月上旬の様子／ベンチも雪に埋もれています

ることができそうですが、北海道では雪に埋もれていますので、冬には全く草花を見ることができません。それは雪の下、土の中で春が来るのを待ち望んで命が育まれている時でもあります。本州では順番に様々な草木が咲いていきますが、北海道は雪が溶けて気温が上昇すると一斉に草木が咲き出します。四月の下旬に福寿草が芽を出すと春到来の合図です。まだ土はグチャグチャで前年の草花が枯れた中に新しい命が芽吹いて



四月下旬／福寿草

きます。チューリップやムスカリ、野生のクロユリ、少し遅れてスズランが咲いたりしますが、バリエーション豊かに、カラフルに目を楽しませてくれます。自然の花だけではありません。この季節、驚くほど多くの方がホームセンターを訪れ、花の苗や野菜の苗を買い、ガーデニングに勤しみます。北海道は十月頃には冬支度を始めます。花を愛でることができるようは五月から十月のわずかな期間。その時期を楽しみに待ち、命を育み、希望を感じて思う存分楽しむのも北海道の楽しさの一つです。

・余談、桜は入学式には咲かない

本州の桜が咲く時期と言えば三月下旬から四月上旬。満開の桜の下で入学式を迎えた写真が残っている人もいるでしょう。結論から言えば、北海道に住んでいる限り、入学式の写真を桜の下で撮ることはありません。北海道の桜の時期はもっとも早い道南（函館周辺）でゴールデンウィーク前半、もっとも遅い道北や高原では、五月下旬が桜前線の到達日になるのです。同じ日本、同じ花でもこれだけ違うのです。それ以上に興味深いのは桜と梅の関係と言っ

ていいでしょう。本州の常識とは大きく異なります。桜前線が津軽海峡を越えて、函館にやってくる少し前、四月の終わり頃に梅の花が咲き始めます。つまり、函館周辺では梅が咲いて、ほどなく桜が咲くのです。本州より梅と桜の開花時期のズレが少ないのです。桜前線が札幌あたりまで北上すると、梅前線に追いつくくらい接近するため、梅が散る前に桜が咲き始めます。梅と桜を同時に見ることができる贅沢な習慣です。梅前線は桜前線のように、早い速度で北上せず、ゆっくりと北上するからです。旭川くらいまで桜前線が北上すると梅前線と二つの前線は重なるくらいに接近します。そして、桜前線が稚内など道北まで行ったところには梅前線は桜前線に追い抜かれ、桜は咲いたが、梅はこれからとなくとも不思議な状況になるわけです。

・「花」は心を映す

一人の高齢の方のご家族から「母が最近怒りっぽくなって…」と相談を受けたことがあります。九十歳を越えて、落ち着きがなくなったり、怒りっぽくなったり、それまでと違う様子もはつきりと見えるようになって

り、ご家族も変化に戸惑いもしたのでしょう。周りの人も少し心配して様子を見ていました。そんな彼女はある日、ジッと庭を見つめて一言。「お花がきれいだねえ」と。そのつぶやき、言葉を聞いた時、「まだまだお元気だ、大丈夫だ」と感じたのでした。美しいものを美しいと受け取ることができる、きれいなものをきれいだと感じることができ。それは心の健康のバロメーターでもあるのです。花を見て憎々しく感じてしまうならば、それは何か問題を抱えているのかもしれないし、何も感じないならば、他のことにも無関心になっている時かもしれません。一輪の花をきれいだと感じることができる。それは素敵なことなのです。もう一人の方は目の見えない方でしたが、時々、車でご自宅までお送りすることがありました。ある日、「その小さな花が咲いている角を曲がってください」と言われて驚きました。周りをよく見てみるとそこには確かに小さな花が咲いていました。何度もその道を通ったことがあるのに気づいていなかった自分、小さなものを見落としている自分がいることに気づきました。何よりも目

が見えないということが「見えない」ということではなく、小さな花に気づくことができる、「見えている」ということに感動を覚えたのです。わたしたちは見えているつもりで見えていないということがあるのではないのでしょうか。目の見えないこの方との出会い、言葉が大切な財産としていつも心に残っています。

・その小さな花を見てみなさい

「野原の花がどのように育つかに注意深く見てみなさい、考えてみなさい。働きもしません。自分で世話もしません。この花をよく見てみなさい。でも、どんなに栄華を誇った人でさえ、この花のように装いを整えられてはいません。今日は咲き、明日は枯れてしまう草でさえ、このように育てられていくのです」。花は小さな存在です。今日は咲いていても明日は枯れてしまうこともありえます。でも、美しく咲くように育てられていく。わたしたちも全く同じように育てられていくのです。自分では何もしない、出来なくても、美しく咲いていくことができます。自分の力ではなく、多くの方の助けを借りてかもしれません。花が咲くよ

うにわたしも咲きながら日々を歩める。花を見る時に、この美しさを受け止める心がちゃんと開かれているか、小さな花を見落としていないか、思い悩んでいないか、そんなことを思い起こさせられます。

日々の中であなたの心を映す「花」を見られているでしょうか。そこに自分の心が鏡のように映し出されている気がします。わたしの心が豊かであれば、その心をほんの少しお裾分けできる。花を育てること、見ることは心の成長、命を感じる時なのです。それぞれの場所でぜひ楽しんでいただければと思います。



加納 寛之

静岡県藤枝市出身

ルーテル学院大学卒業

在学中から東京老人ホームで非常勤職員として社会福祉の働きに関わる。(利用者病院送迎やショートステイ送迎など)

現在、ルーテル岡山教会牧師

まごころ 孫子老だより

健康管理はユーモアと笑いで

みなさま、お元気でしうか。
今年も例年通り暑い夏になりそうです。熱中症に気をつけてください。しかしながら気温の上昇と同じタイミングで電気料金も上がるので冷房を控える人もいるでしょう、公共施設などを上手く利用して、日中は、なるべく涼しい場所で過ごすようにしましょう。無理をしないことが肝心です。また秋にはガソリン補助金が終わし、自動車利用者のサイフをまたしても直撃しそうです。所得も増えない中、大変な時代になりました。

最近、「老いるショック」な出来事が何度かありました。城好きなので、愛媛県のある天守にのぼろうと、入口の受付で入場料を払おうとした時です、昭和なら娘さんの受付嬢が、「お客様は無料ですよ!どうぞお入りください」と言われるので、何かのサービスデーと思い、素直に入ろうとしたら、しばらく間をおいて「お客様、ひよっとして65歳ではありませんよね」私、「ええ・まだ65歳ではないです」と答えたら「申し訳ありません、入場料1000円に

なります!」若干ひきつりながら1000円を渡し、一連のやりとりを反すうしながら最上階にのぼりました。瀬戸内の穏やかな海と多島美のコントラストが素晴らしく感動的でした。さっきの受付のやりとりで、もし私が、50代の大阪のオバチャンならきつと戦場になっていたのではないだろうかと心配になりました。また自分がマスクを付けていたのに老けて見られたことを反省し、熟年になっても見た目は大事だなと感じました。さあ、明日からジムに通おう!イケメンになろう!



息子よりはるかに若い新人君に
「それ写メして送ってもらえるか」とたずねたら「太郎さんシャメって何ですか?」と聞いてきたので「写

メって言えば写メじゃないの、写真を携帯で送るヤツ!」新人君曰く「太郎さんそれは、スクショですね、ええ、スクリーンショット」私「ほお!スクショね」毎日が勉強です。休憩の時、一回りの半分ぐらい若い同僚と話していた時、私「羽生結弦って若い時の、三善英史に似てないか?」同僚A「似ているような似ていないような、面影はあるわ」その横の新人君「三善英史って誰ですか?」私「雨に濡れながらゝ立たずむ女(ひと)と」がいる♪」と一節歌ったら「太郎さん音痴ですね」と返してきたので、言葉の付度も知らない目の前の若者に、三善英史が何者かは答えず、人さまの前で歌うのは、やめることにしました。

登山仲間の先輩が、俺の周りには、用事はあるけど予定のないジジイばかりやとボヤクので、病院以外特に決まって出かけることのない、その先輩にあなたは、人のことが言えるのかと話半分で聞いていました。それがオバサマたちは、週末は誰そと女子会だ。次の週は、〇〇さん家に野菜採りに行き、そのあとは



花を見に行くなど、時間を惜しむように数カ月先まで予定がいっぱいです。昭和生まれの世のお姉さまはたいへんお元気です。女性の平均寿命87歳もうなずけます。登山に行くと「〇〇草が咲いているね、可愛いね」と先に女性達が見つけて、花図鑑のアプリで検索したり、写真を撮ったりと賑やかになります。いつも水をさすのは、自称、花博士のジジイです。牧野博士のようなオーラはありません、「それは、〇〇草じゃなくて△△やろ、〇〇草は、この山には無いはずや！」ものの言い方もそうですが、家庭でも奥さんに、そんな風に話しているのかと想像してしまいます。女性陣が何かを聞くと、うんちくが長い、前職は学校の先生か管理職だろうと思う方がほとんどです。「けなし山」と言う山が、日本各地にあります。必ずと言って「俺の頭も毛無し山」と言うハゲオ

ヤジが登山中に必ず一人はいます。私は、何百回と聞いてきたので、最近、誰も反応せず、山登り中のオナラと一緒に、聞こえていても聞かなかったことにしています。ともかく、嫌われるオッサンの特徴は、言葉遣いが命令調、意味のないプライドの高さ、広くてごく浅い博学をひけらかしマウントを取ってくる、昔の俺の自慢話をしてくる、説明が長い、間違いをストレートに正す、ケチ臭い、融通が利かない、気がきかない、オヤジギャグが古い、スケベ、特定の女性ばかりと話す、このいずれかにピンとくるあなた、女性の観察力は、鋭いですよ、気を付けましょう。

熟年女性が明るく楽しく元気で活動している話題が、ありましたので、ご紹介します。

『やましろAKB・(A)明るく(K)キレイな(B)ババア』のお姉さまたちの紹介です。徳島県の最西端にある三好市山城町の婦人会(49〜67歳)のメンバー8名が繰り広げるダンスユニットです。結成は2015年、一押しは、笠置シズ子のヒット

曲「東京ブギウギ」に合わせたダンスです。ユーチューブで見ることができまので、ぜひご覧ください。素人なりの一生懸命さと田舎のおばちゃんの生き生きとした踊りが面白いです。動画で確認できるものは「真つ赤な太陽」「買い物ブギー」「ふりむかないで」「恋のバカンス」などがあります。昭和に大ヒットした曲に合わせて踊る姿に元気をもらえます。コロナが落ち着いてきたので、今では、同市の各町内祭りや色々なイベントにひっぱりだこで地域を元気づける一翼になつていようようです。彼女たちのフェイスマスクには、「メンバーみんなに家庭があるし、主婦は仕事が終わったら家のことをして、外に出るのが当たり前と思う人もいる。でも私らは、毎週木曜日に練習に行くし、イベントがあったら踊る。常識だったら考えられんことをしとるけど、家族も今では応援してくれるよ。だってもう、歳とるしかないけん。今やつときたいことを今やらなんたら、後悔する。いつまで踊れるかわからんしね(笑)。人生は一度きり、楽しまんと！」と記されている。



次は、『小浜島ばあちゃん合唱団』の紹介です。沖縄より台湾に近い八重山諸島の石垣島と西表島の間にある小浜島で暮らすおばあちゃんの合唱団です。メンバーは約40名、入会資格は、小浜島在住である。女性である、そして80歳以上であること、合唱団の平均年齢は84歳、中には、97歳のメンバーも在籍しています。合唱団の誕生は、20数年前に立ち上がった高齢者をケアするボランティア組織の「うふだき会」(小浜島の山の名前、大岳「うふだき」)に集まった、ばあちゃんたちが元気づけて集まるとおしゃべりが止まらない、踊りだす、歌いだす、そのうちにデイサービスの食後は、自然と歌の練習会になり、このことを見守っていた島在住のシンガーソングライターつちだきくおさんが合唱団を結成しようと立ち上げたのが、は

じまりとのこと。合唱団の入会式で、新人は、ウェディングドレスを着て、きれいに化粧をしてもらい昼食会に招かれる、美しいドレス姿になった入団式で、ばあちゃんたちは再び生き生きと元気になるとのことです。当時から十分な収入が少なかった島では、洋服はもちろん、お化粧や、おしゃれをする余裕がなかった女性たちにとって、この入団式がわくわくするほど楽しめられしく、合唱団に入会した女性たちは「今までの人生で、今が一番楽しい、幸せ！」と話しているそうです。ばあちゃんたちの笑顔を、福祉施設、地域や家族ぐるみで支えている姿がすばらしいです。夢は、紅白歌合戦に出場すること。小浜島ばあちゃん合唱団もユーチューブで見ることができそうです。ぜひ元気をもらってください。

最後にご紹介するのは『おばあか

ふえ』です。場所は、兵庫県の県北、ほぼ鳥取県に近い新温泉町にある、平均年齢71歳のメイドのおねえさんたちが接客するカフェです。数十メートル先には夢千代日記の舞台になった湯村温泉があり、古い温泉

街の通り沿いに昔の風情を残したカフェがあります。おばあさんの根性焼きと称する大判焼きとコーヒーとみやげものぐらいいしありませんが、店内の壁という壁に、ばあちゃんたちの格言というか名文が色紙やカレンダー、雑貨に印刷されて展示販売されています。それら一つ一つがシニールで全て読みたくなります。その一部をご紹介します。「わしゃ死ぬまで生きたる！」「おばあさんの定義一、人の話を聞かない一、我道を行く一、ボロクソに云られてもへこたれない！」「おばあさん鈍感お金にはなぜか敏感」「まちがえてもいいよおばあさん」とつけん」「人生ピークは90歳！」「本当の女の人生は70過ぎてから！」「都合の悪いこと、聞いてないことにするのがおばあさん」「失敗してとばけたっていいじゃないかおばあさんだもの」「気づくと即実行 間をおくと忘れやすい恋」「ゆうこばあ、男前に色気出す、ええ



ことやで」「ボケをうまく利用し失敗の指摘をかわすことじゃ、楽しく生きるための頭脳戦じゃ！」「70歳、おばあさん界ではまだまだ女子大生みたいなもんやで！」「反省しないことが元気のひけつ！テキストが一番じゃ！」「この店は変わった店ですねえーと思われてる方、類は友を呼ぶと云います」「わしらおばあに短所なんかあらへん！あるのは長所と一見短所に見える長所！そして少し短い長所の3つじゃ！」「おばあさんのヒソヒソ話、よお聞こえとるでー」「早とちり、かんちがい、ボケの花が咲く」「笑った顔がかわいいとだんなが云ってくれた」「相手の話を聞かないが、ほめられると耳がダンボになる」「人のせいにして笑っとけば、あとは何とかなるのじゃ」「頼んだことをやってくれないおばあさんのせりふ『忙しすぎてそんな暇あらへん！』ほんまかいな？」「だんなは捨てても女はすてん！」「失敗もなかったことに！とほけろー！ごまかせ！忘れよう！」「恋のときめきがないので一日があつという間に終わるらしい」「だんなは生かさず殺さず、わしの手の中！だ

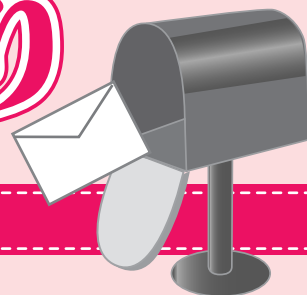
まってわしのこと聞け！」「都合が悪くなると耳が遠くなる」「枯れ婆に花を咲かせましよう云つて口紅を塗りたいくる！」「一度たずねてみてください。元気なおばあさんが楽しく迎えてくれます。

夏の暑さを我慢せず、くれぐれもお体を大切にご自愛ください。

孫子老太郎



センターだより



まごころケア旭川

旭川センタートピックス

武田 明子

日差しが時には夏を思わせるような季節になりました。桜から始まり、はじけるような春も落ち着きをとりのどし、新しい年度に踏み出しました。

5月にはコロナが5類に移行し、まるで恐れていたウイルスがなくなってしまうような錯覚に陥ります。でもでも油断は禁物。旭川センターでもコロナに罹患する人が出ています。身近に存在するのに見えにくくなって、これまでより一層の用心が必要なのだと思います。5月以降も毎朝の検温、マスク着用など基本的な対応は変えていません。検温もマスクも、3密などという言葉も昔話になる日が待ち望まれます。

とは言いながら、今年は理事会・総会を3年ぶりに対面で行いました。理事の方々の中には普段お目にかかる機会が少ない方もおられ、同窓会のような趣でありました。センターの現状、ヘルパーの高齢化、いつの時代も抱える人員不足。次々に求められる制度へ

の対応など、悩みのあれこれを報告し、お知恵を拝借し、書面では決して得られないぬくもりを感じながら過ごした時間でした。今回改めて顔を合わせて会話をする大切さを感じました。コロナで閉ざされていた人の繋がりがありがたさを思い出させてくれたこの春一番のトピックスでした。

まごころケア塩釜

コロナに負けず

松葉 恵美子

5月8日から、新型コロナウイルスが感染法上の5類に移行しました。皆さんの事業所では、どの様に過ごされているでしょうか。

まごころ塩釜では、5月28日、第23回総会を開催し、第一号議案から第四号議案まで可決されました。

スタッフ皆で「日本ケアシステム理念」を確認し、「これからの支援に役立てていこう」と理事長よりお話がありました。

その他、物価の高騰もあり、昼食の値上げ提案が可決されました。

又、三年の間行事を自粛してきましたが、少しずつ再開しようと思い、五月末「まごころ農園」に出かけて来ました。

利用者さんも、とても楽しみにしておりました。

農園では「さやいんげん」や「小松菜」を収穫しました。皆さん夢中になり、沢山収穫しました。その後「さやいんげん」の筋を取って下さいました。



農園は、一面にシロツメ草が生えており、昔を思い出し、「冠」を作っていました。

久々の野外活動でしたので、皆さん喜んでいらつしやいました。

今後感染症に気を付け、活動を行っていききたいと思います。



孫子老ケアサービス 仙台泉センター

手探り見切り発進です

中山 敬子

初めまして 仙台泉区でまごころケアサービスを立ち上げたいと思い、何も考えずに小さな手を大きく挙げてしまいました。

私は現在福島市と仙台泉区でクラフトショップ（手芸店）を経営しております。

当店会員様は現在4000名弱です。その7割が60歳以上の方々と占めております。毎日楽しんで講座を受けに来ていただいている方々も骨折や腰痛など高齢の諸症状との戦いが始まりました。

助け、助けられ、で高齢化社会に生きていく時代がもう始まっていると思うと「何とかしたい！」

との思いだけで立ちすくんでいた時、福島ケアサービスの須田さんとお会いしました。

「孫、子、老、まごころ」

この言葉に非常に惹かれ奥深さを感じました。

数十年前からその志を持って既にケアサービスを実践されている皆様方に敬意と尊敬を持ち、お仲間に入りたいと思っています。

と同時にこの福祉活動に右も左もわからない私共には是非アドバイスをお願い致します。

まずは近隣の施設を訪問させて頂きたいです。

そしてお話を沢山お聞きしたいと思っています。

全国の先輩達から未熟な新参者への助言を沢山いただけたら嬉しいですよ。

まごころケアサービス 福島センター

春・爛漫！

センター長 泉 光江

4月9日（日）福島センターでは、福島市チャレンジ認定ガーデンにもなっている環境を最大限にいかし地域の方々にまごころサービスをアピールすることを目的とした、「第3回花カフェinみんなの孫子老広

場」を開催しました。

桜満開を見込んで予定したものの、暖冬だった為桜は早々に散ってしまい代わりに花桃が満開に彩ってくれました。

120人ほどの方にお出で頂き、演芸・花苗販売・スタッフ手作りのケーキとコーヒーを提供したカフェ・桜餅と陰点でのお茶会・バザー・親子ふれあいゲーム等に参加して頂きました。また作曲を特技としているスタッフに花カフェのテーマ曲『桜花爛漫』を編曲してもらい広い施設会場を音楽で更に彩を添えてもらう事が出来ました。

また、5月28日（日）には、福島



センターの2023年度通常総会を開催し、見慣れた顔ぶれも多くアットホームな総会となり、今年度目標に向かって会員一丸となりスタートを切りました。



まごころケア国分寺

NPO法人あじさいの会

会長 川上 美佐子

この度、令和五年度の総会をもって会長を辞任することといたしました。

振り返れば、出発点の香川県老人福祉問題研究会の係わりから、香老

研国分寺支部を経て、平成十三年四月に特定非営利活動法人あじさいの会を発足し、会長として二十二年の月日が流れました。その間、日本ケアシステム協会の兼問道子会長をはじめ、たくさんの人々に助けられてどうにか今日を迎えることができました。会を継続するためには、後継者への引継ぎという難問を抱え、新しい代表者をお願いしながら今日に至ってしまいました。そしてどうか引き継いでもらえることとなり、ホッとしております。

代表は交代しますが、今しばらく会に係わりながら、進展を見守っていきたいと思っています。福祉の世界に引き込んでくださった、兼間会長をはじめ、全国のセンターの方々とのお出会いは私の一生の宝物です。心から感謝申し上げます。

コロナ禍でここ数年皆様にお会いできず寂しい限りですが、会報まごころで各センターの様子を知ることができ、またお目にかかれることを楽しみにしております。

最後になりましたが、各センターの皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

まごころケア にこにこ三豊

にこにこ三豊デイサービスの一員になつて

看護師 福岡 正隆

『にこにこ三豊』に一月から勤め始めて、もうすぐ六カ月になります。あつという間に時間が過ぎ、デイサービスの利用者さんにも顔を覚えてもらい、「今日もよろしく」など声をかけていただけるようになりました。

以前、私は施設に勤めていて、寝たきりの方や生活介助が必要な方も多く、利用者さんにあまり笑顔が見られませんでした。看護師の仕事として調子が悪くなった方に医師の指示の下で点滴や病院搬送の対応、介護士のサポートなどを行っていました。デイサービスに勤めるようになったきっかけは、利用者さんと会話できる環境があり、自分自身も楽しむことができるということで、デイサービス勤めを選びました。

今回、私はデイの一日についてお話しします。



始めは、利用者さんが来る前の準備です。コーヒーやお茶の準備、前日に干して乾いた洗濯物をたたんだり、お風呂の準備などをします。

その後、車で利用者さんを迎えに行きます。話好きな方を迎えに行くのと、よく話をしていたけます。世間話から始まり、「今日はニコニコに行けて良かった。楽しみにしていたんや。」など、デイサービスを気に入っていることがわかる言葉をかけていただき、ほっこりした気持ちになります。

デイに着き、バイタル測定後のセラバンド体操が看護師指導で行う利用者さんとの本日から始める運動で

す。ゴムチューブを使った負荷が小さい運動ですが、可動域を広くし、ゆっくりとした動作で行うと、けっこう効きます。

体操終了後、水分摂取や休憩、バイタル測定で規定範囲外であった方の再検を行います（この間、規定範囲内の方は入浴）。その後、個別機能訓練、脳トレ、コミュニケーションなどをします（時間が経つのが早く、気がつくと昼前になっていることが多いです）。

お昼は、調理の方が腕によりをかけた料理で、利用者の方にもおいしいと評判です。

昼食後はお昼寝タイムとなります



が、「昼は寝ない」という方もいて、何人かは別室で話しをされています。

お昼寝の後は、歌やレクを皆さんで楽しめます。レクが終わり、おやつを食べると帰る準備や体操をします（どの利用者さんも表情良く、帰る時はお礼の言葉や「次は（私）いつ来るのかな？」と聞かれる方もいます）。

このような、ほのぼのとした日で、利用者さんひとりひとりとしっかり関われるよう努めていこうと思います。

まごころケア 屋島やすらぎ

久しぶりのお花見

猪塚 とも

3年ぶりに新型コロナウイルス感染症からの規制が少し緩和されました。

屋島やすらぎのこいこいクラブでは3月25日お花見に出かけました。今年は桜の開花が早く場所によっては満開でした。

近くの桜の名所でランチをいただく



き、山桜の中ドライブを楽しみ、最後に道の駅でお買い物を楽しみました。

「屋島やすらぎこいこいクラブ」とは会員であることを条件に、ヘルパーのOB、OGや地域の人達の集まりです。

お料理の話、病気の話、家族にも言えない悩みを打ち明けたり、久しぶりに会ったらおしゃべりが絶えませんが、最近は引越されたり、やむなく施設へ入所したりで参加できる人がぐっと減ってしまいました。皆が遠慮なく集える場を作ること、私たちの役割だと思っています。コロナで行動制限があったからこそ増々感じる今日このごろです。

まごころケア ぽっかぽか川之江

毎日に感謝

調理員 森川 亜紀

かまやん【デイサービス】で料理を作らせていただいて6年目に入りました。

かまやんとのお会いは、義理の母がボランティアでかまやんへお手伝いに行っていた時に、同行したのが始まりでした。

その時、とても温かいアットホームな雰囲気。「いつかこんな場所で働いたら良いな」と思ったのを今でもはつきりと覚えています。

そんな夢が叶い、今では利用者さん、スタッフのみなさんの温かさに支えられて充実した毎日を過ごさせていただいています。

時には新しい食材に戸惑う事もありますが、利用者さんみんなが人生の大先輩。

「こうやって調理したらおいしいよ」と的確に教えてくれます。

どんな本を読むより、目の前にいる利用者さんの経験談が何よりも為

なっています。

利用者さんとの関わりから得られるものは偉大で、毎日いろんな場面で成長させていただき、感謝しかありません。

かまやん畑で収穫した採れたて野菜を料理できる事も、とてもありがたく感じています。

そして何より「美味しかったよ。ありがとう。」その言葉、喜んでくださる姿が励みになっています。

高齢者はコロナ禍で色々制限されたり、ストレスや不安を感じる事が多かったでしょう。

だからこそ、出来るだけ気持ちに寄り添い、「これを食べたい」という希望があれば叶えてあげられたら



と思っています。

食べる事は生きる事。そして楽しみでもあります。

毎日元気に過ごせますようにと思いを込めて、これからも心も体も喜ぶ料理を作らせていただきたいと思います。

まごころケア西春日

笠井 圭介

色とりどりの紫陽花が美しいところとなりました。みなさまお変わりなくおすごしでしょうか。

雨が降っても槍が降っても利用者さまにまごころサービスを届ける活動は続きます。地域に出かけて介護ケアを提供するスタッフにとって、利用者さまのサポートはもちろん、近隣の方々との関係構築も大切な仕事です。

集合住宅にお住まいのAさん、階下にお住まいのIさんとあまり折り合いがよくありません。訪問時にスタッフが掃除機をかけたり洗濯機を回したりすると、静かにしてくれと厳しい口調でお叱りを受けます。

困り果てたスタッフは、どのようにさせていたくのが一番よいのか、「お話を聞かせただけですか」とお声かけしました。Iさんの思いはどこにあるのだろうか、本音を汲み取ろうと真剣に耳を傾けます。

聴けば不規則な時間帯の勤務のため、日中は睡眠時間を確保しなければ翌日の勤務に差し障るとのこと。最初はご立腹気味だったIさんですが、お話されるにつれて少しずつ穏やかに。一生懸命眠ろうとしているなか、小さな音でも目が覚めてしまい、「イライラするのでつい声を荒げてしまってますみません」と。

別れ際には、「話を聞いてくれてありがとう、気持ちが悪くなった」とおっしゃっていただきました。訪問時間や家事援助の方法もできるだけ工夫するということで様子を見ることになりました。

訪問介護サービスは利用者さまのみならず、地域の方すべてが対象者、そんな気持ちで出かけてください、知らない方にも笑顔で丁寧な挨拶して、自分は知らなくても相手は知ってるから、と繰り返しお伝えしています。そんな活動によって、地域の皆さま

まに、いざというときには「まごころケア」がある、そんなふうに思っ
て頼りにしていただければ嬉しい限りです。

まごころケア高松

福祉有償運送運転者講習会に参加して

福家 茂雄

去る5月27日(土)開催された講習会に参加された皆さまの声を一部ご紹介します。

○職場での福祉車両の運転業務は見
てはいましたが、自分がすると新たに
気付く点が多くありました。

○実習楽しかったです。今日学んだ
事を忘れず、利用者に寄り添いなが
らお仕事が出来たらいいなと思っ
ています。

○自分が車いすに乗って後部座席に
乗ることはなかったので、揺れや振
動が怖いと感じました。これからは
利用者様の事を考え、安全運転で行
きたいと思います。

○テキストとても分かり易かったで

す。仕事をする時確認しながらやろうと思います。

○車両の使い方も丁寧に教えてくださってありがとうございました。

○仕事中心を付けていなかった、細かい心配りなど注意点に気づけました。

○話を聞くだけでなく、演習してコミュニケーションもはかれ良かったです。

○実技が一人一人個別に体験出来て大変良かったです。

○移送の注意点について、運転するという視点から学ぶことができた。



「AI」と どう向き合いますか

人工知能AIが作る文章や音声、画像などが限りなく人間に近づいてきたことからその活用をめぐって様々な議論がされている。いずれ人間の手に負えなくなるのではないか、いやいや人でできないことがあるので大いに活用すべしなど。

毎日新聞「論点」欄で「AI」への向きあい方について「人間のプロ」（新聞による）ともいえるお三方の記事があり、興味深く読んだのでその一端を紹介したい。

「人の経験知や直感を大切に」

鈴木昌子氏

（理化学研究所客員主管研究員）

私たちは新たな道具や機械を生み出すと、使いこなす能力や技能を獲得する一方で、必要なくなった能力は忘れていく。このように能力の「組み替え」を繰り返してきたのが人類の歴史と言える。ついに脳の機能も部分的ではあるが、代替されようと

している。

AIはいずれ、見た目が人間そっくりなだけでなく、感情があるかのような反応をするようになるかもしれない。しかし、AIはあくまで機械で人間との違いをわきまえておく必要がある。そこから人間だからできること、人間らしさを改めて発見するヒントが得られるかもしれない。

例えば記憶について考えると、必要なデータは機械ならば削除すると消えるが、人間は一度学んだことや経験したことを意図的に忘れて完全に消去することはできない。体験はおぼろげな状態のまま身体のごどこかで眠り続ける。その記憶が何かの拍子に目を覚まし、ひらめきを導くこともある。

記憶は機械に任せて、人間は発見や創造的な仕事に集中すればいいという風潮もあるが、果たしてそれで大丈夫だろうか。一つの仕事をこなすにも人間は、さまざまな能力を複雑に絡み合わせている。AIに任せただことで衰えていく能力や技能が、実は人間の経験知や勘、直感などの働きをも鈍らせてしまう危険があ

る。

記憶のデータだけで勝負すればAIの方が有利だろう。しかし、人間には「このデータは、ちょっとおかしいな」といった直感が働くことがある。経験知が目覚める瞬間だ。現場で汗を流し、体験してきたからこそできる判断や決断がある。記憶することと思いつくことがセットになって生まれる創造の力は、人間らしさの最後のとりでになりうるかもしれない。

「何か嫌」な自意識の溶解

南 直哉氏（恐山菩提寺副住職）

人間が何かを創造するには、物事に疑問を抱き、新たなテーマを見つける力がある。この「問う力」は人間しか持たない。ただし、創造行為のそれ以外の部分は、編集作業だ。テーマに即して知識を個人の頭の中で組み合わせ、新しい商品や作品を作る。同様に生成AIは与えられた問いに膨大なデータから答えを出す。

実は、ほとんどの人間の仕事は「問う力」があまり必要ない。多くのホ

ワイトカラーがしている事務処理は、AIができるようになると思う。専門職も、例えばAIが医師よりの確に診断するようになる。世の識者は「凡庸な仕事はAIに任せ、人間は真に創造的なことに専念するようになる」と言う。「正気か？」と思う。人間の仕事の多くは凡庸であり、人類にそんなに大量の創造的な仕事は少ない。AIが事務仕事を奪い、他の機械が単純労働も代替した末には、無職で生活は保障された人の存在を許容する社会が必須だろう。

そうなると、アイデンティティーの問題が出てくる。近代以降の人間のアイデンティティーは、仕事が根本を占めてきた。だから、退職した途端に元気がなくなる人や、新聞の投書欄で「元教師」とか「元公務員」といった肩書を使う高齢者がいる。未来社会では、多くの人が人生の最初から「老後」を生きる。仕事をせずに遊び続けたら、いずれ飽きる。しなければならぬことがないと、他人からの承認も得られない。人間の自意識はそれに耐えられず、生の実感を失い、生きること自体が苦行になる。

もっと言えば、将来、AIは偶然、自意識を持ち自ら価値判断できる主体に進化するかもしれない。生物の進化は、遺伝子エラーの結果がたまに環境に適合すると起きるという。同様に、AIでバグが積み重なった果てに……。自意識を持つAIの反乱は一瞬で人間を圧倒しそうだ。

さらに、いずれは、人間の自意識をデジタルネットワークにコピーできるようになるかもしれない。これで、AIと人間の差は失われる。自意識がネットワーク上でつながれば、じきに自他の境界が失われ、人間は溶解してゆく。

自意識から解放され煩悩のない状態を、仏教では涅槃（ねはん）といい涅槃は仏道の目標とされる。つまり、私は「デジタルニルバーナ（電子涅槃）」を否定できない。ただし、「何か嫌」だと感じる。この「何か嫌」が人類最後のとりでという気がする。

「人間らしさ」を常に問う

瀬名 秀明氏（SF作家）

一流の「おもてなし」は安い居酒屋

屋でもいい、自分が心からおいしいと思う店に相手を連れていくことだ。つまり、覚えてしまえば誰でもできるエスコートなどは、AIやロボットに任せて構わない。しかし店を実際に訪ねて「この料理はあの人の口に合いそうだな。一緒に食べたいな」などと思って人をもてなすことはAIにできない。人間らしさが必要だ。

AIやロボットが発展すればするほど、人間らしさが際立っていくと私は思う。「僕らはどうして僕らであるべきなのか」を常に問い、人間らしさとは何かをしつかり考えなくてはならない。そんな時代になるはずだ。

一方、人というのは簡単に心を失ってしまう。AIが今後、どう発達するか分からないが、もしAIが心を持つようになれば、人が心をなくした時に思いやりや優しさを逆に教えてくれる存在になるかもしれない。

そもそも「ドラえもん」や「鉄腕アトム」のような、人の心を持つAIを作るのは長年、多くの研究者が夢見てきたことだ。いつか誕生して

もおかしくない。

そして、その萌芽はチャットGPTの中に見えつつあると個人的に感じている。チャットGPTの能力を飛躍的に高めたカギは、注意を向ける「アテンション（注意）」機構だとされる。そして、注意を向けることは意識の始まりだという説がある。新型コロナウイルスの感染経路はまだまだよく分かっていないが、それは人が重大な要素に注意が向かず、見逃しているだけかもしれない。AIの注意能力が高まれば人が気づけないことを教えてくれる可能性もある。

生成AIについては、騒ぎすぎだという批判もあり、その通りだとも思う。だが私は、面白い社会ができることに期待もしている。人は元々ずぼらで、弱く、楽な方に流されがちだ。心をなくして、道に迷ってしまった時、ドラえもんが正しい道を教えて助けてくれるように、人とAIがうまく共存しながら互いによいパートナーになれる日がくればよいと願っている。



令和5年夏号をお届けします。今回もお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

令和5年度理事会並びに定時総会の書面議決の結果についてご報告申し上げます。

本年度の全国大会も、コロナ感染症の位置づけが変わったとはいえ大勢での大会はリスクを伴うと判断して書面での総会とさせていただき、下記議案について書面にてご審議頂きました。

- 第1号議案 令和4年度事業報告並びに活動決算報告について
- 第2号議案 令和5年度事業計画(案)並びに活動予算(案)について
- 第3号議案 役員改選について
- 第4号議案 令和5年度会費・保険料について

以上4議案について、役員並びに会員皆様から書面にて表決を頂いた結果、理事、監事(総数7名)また正会員(総数18団体)皆様から全議案について原案どおり賛成との回答を頂きました。

本年度もなお一層のご支援ご協力を頂きますようお願いいたします。また、来年こそ各センターの皆様とお会いし、全国大会が開催できることを切に願っています。

東北地域仙台市に新センター発足

本年4月に福島センター様のご紹介で「孫子老仙台泉センター」(センター長:中山啓子氏)が新しく日本ケアシステム協会へ仲間入りしました。コロナ下でなにかと活動が低迷する中、新センターの発足というニュースは会員にとって大変うれしく希望や勇気をもたらしてくれます。ともに連携して活動を進めたいと思います。よろしくお願いいたします。

愛媛・香川県下センターブロック会議

令和2年4月以来3年間中止していたブロック会議を6月23日再開しました。当日は久しぶりに対面し、コロナ下での各センターの活動状況や今後の課題などを話し合いました。

コロナ前は2カ月に一度開催していたのですが、3年ぶりの再会とあってその間にセンター長が変わられたところもあり、初めて参加の方もいて懐かしさや緊張感がたどよみました。すぐに打ち解け、なかなか雰囲気の中で意見の交換が行われました。

会の終了後、この4月に新しく日本ケアシステム協会に入会された仙台泉センターの中山センター長様がちょうど高松に来られていて、皆様とご挨拶を交わし、ともに連携して活動を進めることを約束しました。

トルコ・シリア地震救援金カンパをお願いいたします

今年2月のトルコ・シリア大地震の被災地では、いまだ厳しい困難な状況下にあることからカンパをお願いしたところ、様々な団体や個人の方々からカンパが寄せられました。現在のお寄せいただいたご厚志の状況は下記のとおりです。引き続き救援金カンパのお願いを継続していますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お寄せいただいた救援金は、大坂の毎日新聞社会事業団を通じて現地の復興支援団体へお届けする予定です。
【救援金カンパ】**168,000円**(令和5年6月20日時点)

【お名前】長松広志、(株)成光社、西尾ミドリ、三好康義、小比賀恵子、前田律子、松下令幸、真鍋宣子、中原美佐子、まごころケア旭川、(株)ウエイ企画、まごころケア西春日、まごころケア高松(敬称略・順不同)

●お振込みは下記をお願いいたします。

【ゆうちょ銀行】

・ゆうちょ銀行 口座番号: 01610-0-92689
特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会

【香川銀行】

・香川銀行 栗林支店 普通 口座番号: 1355365
特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会 会長 カネマミチコ 兼間道子

*差出人名には「ジシンカンパ+お名前」をご記入ください。



介護保険業務の 様々なご要望にお答えします 介護保険トータルシステム「RelyⅢ」 株式会社 アール・シー・エス 〒760-0020 高松市錦町1丁目4番37号 TEL: (087) 802-5133 FAX: (087) 826-5010	はじめて まいたんメール便 です 高松メールセンターからのご案内 メール便... ハガキ 封書 カタログ など 激安価格で 配達します お問い合わせは こちらから 四国メールネットワーク協同組合 (有) タウンネット 高松メールセンター 〒761-8058 高松市勅使町519番地 TEL 087-813-0426 FAX 087-813-0436 E-mail takamatsu@carol.ocn.ne.jp http://www.shikoku-mp.com/	 Achieve everyway 株式会社 ウエイ企画 〒760-0062 高松市塩上町7-2 TEL: 087-837-1159 FAX: 087-897-3007 www.network-way.com WEB・システム グラフィックデザイン イベント企画・運営
あいおいニッセイ同和損保代理店 (株)フリーエージェント ＊損保・生保・社会保険労務士＊ 扱っています。 高松市伏石町 2028-2 TEL 087-816-8123 FAX 087-815-1171	福祉車両など お車のことならお任せください  トヨタの福祉車両 「ウェルキャブ」 取り扱いしております 香川トヨタ 定休日 月曜日 本社／高松市春日町1378番地 https://kagawa-toyota.jp	総合印刷・イベント事業・マニュアル制作 デジタルコンテンツ企画制作  株式会社 成光社 高松 東京 〒760-0065 高松市朝日町5-14-2 TEL 087-823-0222 FAX 087-823-0211 www.seiko-sha.co.jp
実務者養成施設 介護福祉士実務者研修＜通信課程＞ ★4月から翌年3月まで毎月受付 「年12コース」各コース定員24名 ★全国どこからでも応募できます ★スクリーニング(通学)は 「医療的ケア演習」を含み7日間 【照会先】 ラポールカレッジ 研修所 / 事務局 TEL 087-815-0760 〒761-8052 高松市松並町 802 番地 1 / 日本ケアシステム協会内 駐車場有り(無料) / 宿泊 1,000 円～	地域とともにこれからも。  香川銀行 トモニホールディングス	消防設備士の店 四国防災設備 有限公司 消防設備保守点検 〒761-0612 香川県木田郡三木町氷上1833-6番地 TEL (087) 898-3913 FAX (087) 898-8801

ご利用ください。

● E-mail (電子メール) ●



magokoro@hyper.ocn.ne.jp

● URL (ホームページ) ●



<http://www.jp-care.gr.jp>

編集後記

梅雨の晴れ間に青空が現れると、たちまち真夏日。厳しい暑さの予感に思わず身構えてしまいます。コロナが感染症法上5類になり、日々のニュースから感染者数の報道がなくなりました。街中のマスク姿も徐々に姿を消しつつあり、小学校のプールも再開され、日常が戻りはじめています。どうかこのまま治まって欲しいものです。もうすぐ暑い日々がやってきます。皆さま熱中症や感染症に注意してこの夏を乗り切りましょう。ご活躍をお祈りいたしております。

全国まごころケアネット
 特定非営利活動法人 日本ケアシステム協会
 まごころケアサービスセンター

センターの名称	住 所	Eメール	TEL	FAX
本 部	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-815-0771	087-815-0773
まごころケア旭川	〒070-0037 北海道旭川市7条通8丁目セントラル7条ビル202号室	magokolo@tmt.ne.jp	0166-26-8639	0166-74-3172
まごころケア塩釜	〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町39-2	jmss@cocoa.ocn.ne.jp	022-362-2030	022-362-3303
孫子老ケアサービス 仙台泉センター	〒981-3137 宮城県仙台市泉大沢1-5-1イオンタウン泉大沢ポコアポコ	pocokei@yahoo.co.jp	090-6622-7122	
まごころケアサービス 福島センター	〒960-2262 福島県福島市在庭坂字南林60-2	magokoro@safins.ne.jp	024-573-7539	024-591-5441
まごころケアサービス 二本松センター	〒964-0903 福島県二本松市根崎1-9	kuwabara.masaaki@ivory.plala.or.jp	0243-22-0112	0243-22-0112
まごころサービス 国見センター	〒969-1761 福島県伊達郡国見町藤田日渡四18の1	magokoro923@yahoo.co.jp	024-585-5923	024-585-5924
まごころケア千葉	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-23-15 グランドウール第2-107号	magokoro12315@nifty.com	043-274-9711	043-274-9718
まごころケア京田辺	〒610-0331 京都府京田辺市田辺北川44番地	sqkg13630@eto.eonet.ne.jp	0774-64-3722	0774-64-3722
まごころサービス 岡山センター	〒703-8232 岡山県岡山市中区関19番地1	magokoronowa@mx4.ettiki.ne.jp	086-278-2926	086-278-2966
まごころサービス 倉敷センター	〒706-0001 岡山県玉野市田井3-12-18	rappyon@lime.ocn.ne.jp	0863-31-6640	0863-31-5110
まごころケア高松	〒761-8052 香川県高松市松並町802番地1	magokoro@hyper.ocn.ne.jp	087-865-8001	087-865-8039
まごころケア国分寺	〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分1284-1	ajisai@eagle.ocn.ne.jp	087-874-6625	087-874-6685
まごころケアにこにこ三豊	〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬1883-1	nikoniko-mitoyo@shirt.ocn.ne.jp	0875-73-6750	0875-73-6751
まごころケア丸亀	〒765-0032 香川県善通寺市原田町1317-7	tyusan.n-377-p4376-o@wing.ocn.ne.jp	0877-64-0278	0877-64-0279
まごころケア屋島やすらぎ	〒761-0111 香川県高松市屋島東町1414	mallkal584yasuragi@swan.ocn.ne.jp	087-843-9590	087-841-3853
まごころケアサービス 大川センター	〒761-0904 香川県さぬき市大川町田面1198	okawa@samariya.or.jp	0879-43-3191	0879-23-2712
まごころケア西春日	〒761-8051 香川県高松市西春日町1510番地1	keisuke82kasai@gmail.com	087-869-1165	087-869-1195
まごころケア ぽっかぽか川之江	〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町1660-1	kamayan@cosmostv.jp	0896-56-2623	0896-77-5761

「日本ケアシステム協会」会報

令和5年7月1日 発行No.164

発 行 所 〒761-8052 高松市松並町802番地1
 TEL087-815-0771 FAX087-815-0773
 URL <http://www.jp-care.gr.jp>
 編集発行人 兼間 道子
 郵便振替 口座番号 01610-0-92689
 印刷所 (株)成光社

まごころケア高松
 NPO法人 長寿社会支援協会

〒761-8052 高松市松並町802番地1
 TEL087-865-8001 FAX087-865-8039
 E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp
 URL <http://cho-jyu.info/>